



【椿小学校】

<第3学年：大好き！ふるさと椿>

～椿を元気にする人たち～ 外部講師との交流>

椿校区の偉人である「今村久兵衛」に関心をもち、紙芝居を見たり、「久兵衛会」の代表の方を招いて話を聞いたりした。その後、今村久兵衛さんについて自分たちで調べ、調べたことをまとめ発表した。

また、現在、地域のために尽力している方々5名の話グループに分かれて聞き、自分たちも学校や地域のためにできることを考え実践した。これらの活動を通して、地域の歴史や先人の思いを知り、それが、今も受け継がれ守られていることを実感した。また、現在も地域のために尽力されている方々がいることを知り、ふるさと椿をさらに大切に思う気持ちが高まるとともに、地域の一員としてどのように行動すればよいか考える機会となった。さらに、調べ学習や講師の話の中で、米作りの苦勞について知り、自然の大切さにも気付くことができた。



<第4学年：やさしさ広げ隊>

福祉体験学習では、講師を招いて、「手話体験」「点字体験」「ガイドヘルプ体験」「車いす体験」に分かれて活動した。体の不自由な方や福祉ボランティアをしている方の話を聞いたり、実際に体験したりして、ゲストの方との交流も楽しんだ。活動を通して、日々の生活の中で大変なことや、手話や点字の難しさなどを実感しながら、自分たちにできることを考えた。

また、「認知症キッズサポーター養成講座」に参加し、小学生も認知症について正しい知識をもつことで、できる範囲で認知症の人を温かく見守り支えていくサポーターの役割を担うことができることに気付いた。認知症の人への接し方を学ぶことや声掛け体験を通して、「困っている高齢者の方を見掛けたら、優しい気持ちで接したい。」という思いをもった。調べ学習や体験活動を通して、分かったことをまとめて発表し合い、誰もが住みやすいまちづくりについて考えを深めた。





【椿小学校】

<第5学年：自分たちの今、地球の未来>

外部講師によるゲームやワークショップを通して、持続可能な社会の実現や世界の現状・問題点について体験的に学び、SDGsへの関心を高めた。その後、SDGs 17の目標のうち、最も興味・関心のあるものを選び、関連する問題や課題を調べてまとめ、伝え合った。目標達成のために、これからの生活で個人や学級で取り組みたいことを話し合い、普段の生活や夏季休業中に取り組むようにした。「SDGsと松山の先人たち」「古川町のしおり」等を活用し、自分たちの住む地域の歴史や未来に残したいものについて話し合った。そして、自分たちの住む地域でみんなが安心・安全に生活するためにどうすればよいか課題をもたせ、地区防災会の方と一緒に防災まち歩きを行い、防災マップを作成して身近な人たちに発信した。冬季休業中も家庭でできる防災・減災対策を実践した。

<第6学年 未来に向かって！ 外部講師との交流>

職業カードを使った活動を通して、自分がしてみたい職業や興味のある職業を見付けた。その仕事についてインターネットを活用して調べていく中で、探究を深めていくために実際に働いている方と交流した。ハローワークプラザの方には、仕事に就くという意味や就職状況など具体的に話していただいた。また、愛媛県中小企業家同友会の方の中からいろいろな職種の方5名に、仕事内容や働く意義、やりがいなど、実体験を基にした具体的な話をしていただいたり、模擬体験をさせていただいたりした。自分が調べている職種とは直接関係ない子どもや、まだ、明確にしてみたい仕事が決まっていない子どもにとっても、働くことにおいて必要なことを教えていただけたので、どの子どもも関心をもって体験活動に取り組むことができた。

